

NO.09-0012

報道関係者 各位

～花や実が楽しみな苗木を育てませんか？ 売上の一部はマータイさんの植林運動へ寄付します～

『2009 ベルメゾンの森キャンペーン』4月1日(水)スタート！



お届けセット例：

パキラの木、陶器鉢、記念ステッカー



ノーベル平和賞受賞者ワンガリ・マータイさん

(提供：毎日新聞社)

株式会社 千趣会(本社 大阪市 代表取締役社長 行待裕弘)は、CSR (企業の社会的責任) 活動の環境対策の一環として、4年目となるお客様参加型の環境イベント『2009ベルメゾンの森キャンペーン』を2009年4月1日(水)からスタートいたします。

「ひとりが育てる木も、みんながそのひとりになれば、いつかは大きな森になる」。ご家庭で小さな苗木を育てていただき、楽しみながら環境保護活動の輪を広げることを目的に、2006年にスタートしたベルメゾンの森キャンペーンは今年で4年目をむかえ、以来、予想を上回る反響をいただき、ノーベル平和賞受賞者ワンガリ・マータイさんの植林運動へ9532名のご参加により合計953万2千円を寄付することができました。

今年は専用のWebサイト (<http://www.bellemaison.jp/mori><パソコン・携帯共通>)に、比較的育てやすい3種類の苗木、空気をキレイにする木「エコザクラ (R)」、室内で楽しむ木「パキラ」、実を楽しむ木「キイチゴ」をご用意いたしました。それぞれに陶器の鉢と育て方のしおり、参加記念ステッカーをお付けしています。また、昨年に引き続き、寄付のみの参加をご希望のお客様向けに「ワンコイン寄付」も募集しており、こちらには記念品としてグリーンスティック(花の種)をお付けしています。さらに本年度より携帯電話からでもお手軽にご注文いただけるようになりました。

また、弊社は環境に対する取り組みでは初めてノーベル平和賞を受賞したケニアのワンガリ・マータイさんが提唱する MOTTAINAI キャンペーンに賛同し、今年も『2009 ベルメゾンの森キャンペーン』の売上の三分の一の金額と弊社からさらに同額を加えた金額を、マータイさんが有志と創設した「グリーンベルト運動」へ寄付いたします。(寄付は MOTTAINAI キャンペーン事務局の毎日新聞社を通じて行います。) これまでケニア全土で4,000万本の木を植えているこの運動は、自然保護にとどまらず、植林を通じて貧しい人々の社会参加の意識を高め、女性の地位向上の原動力にもなっています。

【千趣会の環境イベント「2009ベルメゾンの森キャンペーン」概要】

- ◆名称 2009ベルメゾンの森キャンペーン
- ◆webサイト <http://www.bellemaison.jp/mori>(パソコン・携帯共通)
- ◆実施期間 2009年4月1日(水)～2010年3月31日(水)
- ◆商品 パキラの木、キイチゴ(インディアンサマー)の木、
エコザクラ(R)(ヒマラヤザクラ)の木、
ワンコイン寄付(グリーンスティック(花の種)付き)
- ◆販売価格 苗木1セット1,500円(税込)ワンコイン寄付500円
- ◆寄付先 毎日新聞社を通じてワンガリ・マータイさんの
「グリーンベルト運動」



グリーンスティック(花の種)



パキラの木

エコザクラ(R)の木

キイチゴの木

千趣会の海外植林活動



＜使った分だけ、木を植えよう＞

カタログ使用全量分をまかなう規模の植林を。

私たちは大きな夢に着手しています。

千趣会が発行するカタログは年間約1億冊、約4万トンのパルプを消費いたします。このため、千趣会では紙問題は最大の環境問題であると認識し、1993年からオーストラリアで約24,000ヘクタール規模の植林事業に共同参画しておりますが、当社の貢献分は、カタログ使用量の20%にすぎませんでした。

創業50周年を機とした新たな目標は、カタログ使用全量分の収穫量。そのため2006年はラオスでの植林事業にも参画し、2012年には45%までの収穫を見込んでいます。

木を植え、育てる。育った木を伐採して紙の原料を作る。再び木を植える。少しでも多く、そして近い将来の自給自足のために。私たちは、本気で植林事業に取り組みます。

◎本件に対するお問い合わせ先

株式会社千趣会

東京総務・広報部 東京広報チーム 加藤 浅川

東京都品川区北品川5-9-11 大崎MTビル

TEL : 03-5475-7511 FAX : 03-5475-7516 e-mail : pr@senshukai.co.jp